

看護学教育における教育方法論としてのケアリングの導入に向けて

安酸史子*

Fumiko YASUKATA

平成8年の指定規則のカリキュラム改正を受けて、カリキュラムの検討をする中で出会った“*Toward a Caring Curriculum: A New Pedagogy for Nursing*” (Bevis & Watson, 1989) は、行動主義モデルでの教育を批判しつつも具体的な代替案を持たなかった私にとって、示唆に富む本でした。平成11年には「ケアリングカリキュラム 看護教育の新しいパラダイム」(安酸, 1999)として翻訳本を出版しました。ケアリングカリキュラムの考え方は、看護基礎教育の高等教育化の波の中で新しい看護教育を模索していた我が国の看護教師たちの注目を集め、少しずつではありますが確実に支持層を増やして来ていると感じております。

J. Watsonはこの本の執筆時はコロラド大学の看護学部学部長であり、教員と学生が総力を挙げて、行動主義モデルからの脱却をはかり、ケアリングを中心理念にしたカリキュラムへと変革する仕事を行ってきたと述べています。

この本の中で彼らは、学習者の成熟度を「ご機嫌取り」「期待に添った順応」「共鳴」「交換」「生成」の5つの段階に分けて説明しています。彼らの主張によると、訓練的学習では、最初の3つの段階の成熟度にとどまるが、教育的学習では、残りの2つの段階にまで成熟度をあげるといいます。訓練的学習では、学生は機械論的に手順を覚えたり、規則や命令に従ったり、一般的理論に基づいた学習をすることになります。一方、教育的学習では、教師との相互作用の中で、学生は文脈の中で意味を感じ取り、論理的つながりを考え、新たな知の創造をめざす学習をすることになります。看護基礎教育の段階では、訓練的学習を完全に排除することはできないと考えておりますが、教育的学習を推進していくことが、大学教育として看護教育を考え

るときの使命ではなかろうかと私は考えています。

「ケアリング」は、研究者によって捉え方が幾分異なるものの、ケアするものとされるものとの情緒的な関係性に焦点を当てて使用されることが多い概念です。私は、学生の経験を大切にし学生の経験の意味づけを教師と学生との共同作業で展開していく臨床実習教育を「経験型実習教育」として提唱してきました(安酸, 1997, 1999, 2000)。経験型実習教育は、J. Deweyの教育哲学を中心基盤にして開発してきた方法論ですが、まさに上述した教育的学習の学習スタイルそのものといえます。経験型実習教育をしていくためには、学生及び患者の直接的経験にどこまで迫れるかがポイントになります。そして、できるだけ多面的に推測し、推測したことを決めつけずに、対話を通して確認し理解した上で、学生と一緒に解決策を考えます。その過程で学生は自分の経験を振り返り、意味づけし、どうしたらいいかを自分で決めていきます。教師は十分に学生の気持ちを聴いた後で、自分の意見やアドバイスをいうことはありますが、必ず学生の意見を確認し、学生の自己決定を尊重する立場をとります。このことにより押しつけではない教育的学習になると考えています。

福岡県立大学看護学部は産声を上げたばかりですが、ケアリングの理念を基本理念に置き、実習教育は「経験型実習教育」のモデルを適用して組織的に取り組んでいく予定にしております。かつてJ. Watsonがそうであったように、困難であっても教員と学生が総力を挙げて取り組むことにより、必ずや成果が上がることを期待しております。

文 献

- Bevis, E. O., & Watson, J. (編). (1999). *ケアリングカリキュラム：看護教育の新しいパラダイム* (安酸史子, 監訳). 東京：医学書院. (Bevis, E. O., & Watson, J. (Eds.). (1989). *Toward a caring curriculum: A new pedagogy for nursing*. N.Y.: National League for Nursing.)
- 安酸史子. (1997). 経験型の実習教育の提案. *看護教育*, 38(11),

* 福岡県立大学看護学部臨床機能看護学講座
Department of Nursing Management/Nurse Education,
Faculty of Nursing, Fukuoka Prefectural University
連絡先：〒825-8585 福岡県田川市伊田4395
福岡県立大学看護学部臨床機能看護学講座 安酸史子
E-mail: yasukata@fukuoka-pu.ac.jp

- 902-913.
- 安酸史子. (1999). 経験型実習教育の考え方. *Quality Nursing*, 5 (8), 568-576.
- 安酸史子. (2000). 学生とともに創る臨地実習教育：経験型実習教育の考え方と実際. *看護教育*, 41(10), 814-825.